記者発表資料

平成２７年7月21日
国　土　交　通　省
南三陸国道事務所

三陸沿岸道路　「唐桑高田道路」
(仮称)新気仙大橋で橋桁の架設が始まります

三陸沿岸道路「唐桑高田道路」は、復興のリーディングプロジェクトとして平成３０年度の開通に向けて、地域一体となって事業を進めております。
この度、二級河川 気仙川に架かる唐桑高田道路の「(仮称)新気仙大橋」 において、7月23日より橋桁の架設が始まりますのでお知らせします。
また、(仮称)新気仙大橋の橋桁の塗装色は、陸前高田市の要望を受けて、地域に愛される橋となるよう、陸前高田市 「奇跡の一本松」ロゴマーク(1PPON MATSU)カラー（緑色）に合わせました。【別紙-2参照】
なお、架設作業に伴い、市道今泉下矢作線の大嶋部付近において一時通行止めを予定しております。【別紙-3参照】ご理解とご協力をお願いします。

架 設 時 期 ： 平成２７年７月２３日～平成２７年１１月３０日（予定）
場　　所 ： 自）陸前高田市矢作町大嶋部　至）陸前高田市高田町栃ヶ沢
橋梁上部工 ： 鋼７径間連続箱桁橋　橋長L=438.0m　幅員W=12.0m
架 設 工 法 ： クレーンベント工法【別紙-1参照】
工事受注者 ： 株式会社横河ブリッジ　仙台営業所

■第１回目の架設作業について
日　時：平成２７年７月２３日（木）
AM8:00から準備作業（橋桁の搬入・組立）
PM3:00頃から橋桁架設（クレーンによる橋桁の設置）
場　所：陸前高田市矢作町大嶋部　市道今泉下矢作線付近

注）現地案内は特に用意しておりませんが、現地を取材される場合は応対しますので、事前に南三陸国道事務所(下記問い合せ先)へお問い合わせください。

（参考）「唐桑高田道路」開通で期待される効果【別紙-４参照】
効果①：緊急輸送道路の信頼性確保
効果②：迅速な救急搬送で、安全・安心な住民生活に寄与
効果③：漁業・水産加工業の復興に寄与、産業活性化に期待
効果④：三陸沿岸部のネットワーク形成により、観光振興に期待

【発表記者会：岩手県政記者クラブ、大船渡記者クラブ、東北専門記者会】

問　い　合　わ　せ　先

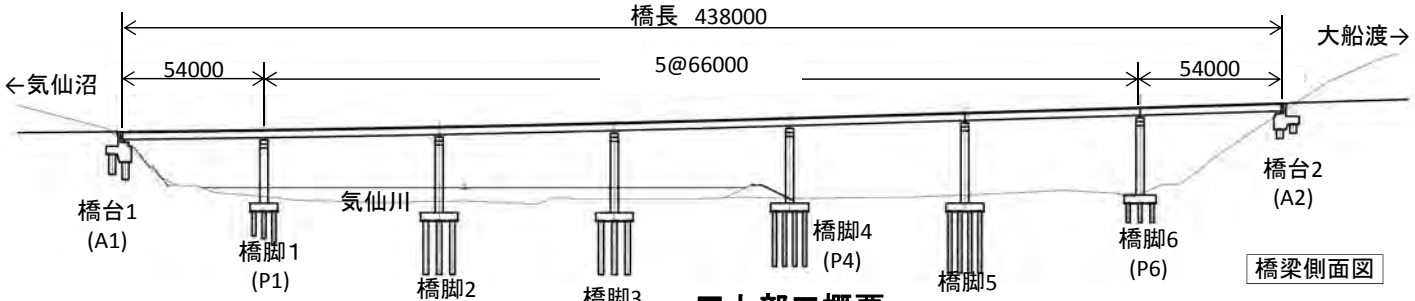
【事業及び現場取材に関するお問い合わせ】
国土交通省東北地方整備局　南三陸国道事務所　　電話：0193-28-4731（代表）
副　所　長　　山口（やまぐち）　満（みつる）（内線２０４）

【工事内容に関するお問い合わせ】
株式会社横河ブリッジ　仙台営業所
新気仙大橋作業所（陸前高田市気仙町字奈々切272）　電話：0192-47-4957
所　長　　大濱（おおはま）　浩二（こうじ）

南三陸国道事務所のホームページ　http://www.thr.mlit.go.jp/minamisanriku/index.html

つながる道 つながる三陸

国道45号新気仙大橋上部工工事



橋梁側面図

■唐桑高田道路の位置

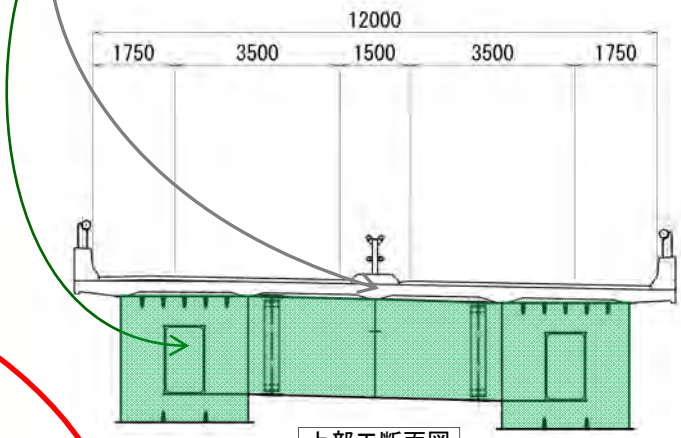


路線名	計画延長	開通延長	事業中	うちH23事業化	うちH25事業化
三陸沿岸道路	359km	152km	207km	148km	—
宮古盛岡横断道路	100km	8km	58km	48km	—
釜石花巻道路	80km	54km	26km	17km	—
東北中央自動車道	45km	0km	45km	11km	12km
合計	584km	214km	336km	224km	12km

※数値は1km単位で四捨五入
※H27年4月時点

■上部工概要

構造形式：鋼７径間連続非合成箱桁橋
橋　　長：438.0m
径 間 長：54.0m＋5@66.0m＋54.0m
架設工法：クレーンベント工法
- 橋桁：鉄(鋼)（約1,900t）
- 床版：鉄筋コンクリート（約1,800m3）



上部工断面図

(仮称)新気仙大橋

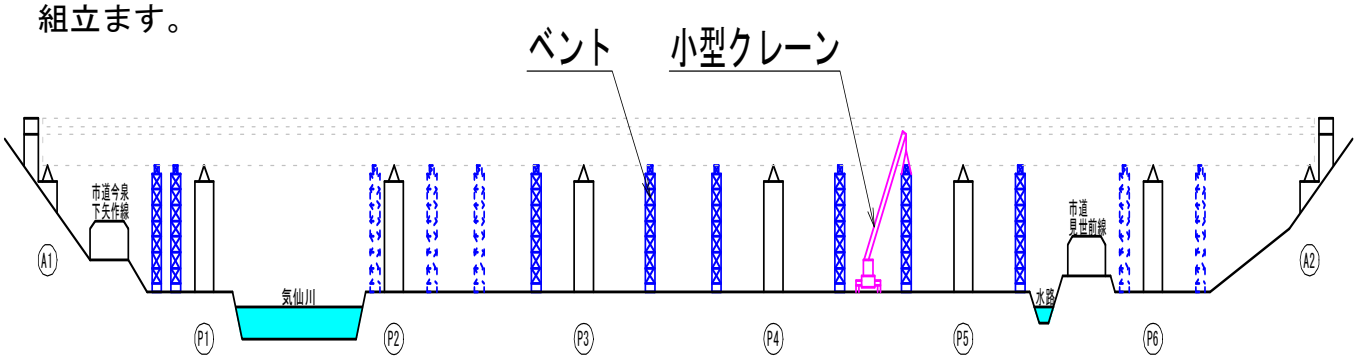


■架設工法　クレーンベント工法

○ベント組立

（ベントとは、仮受け構台ともいい、橋梁の架設において橋体などを支持するため設ける仮の支柱のこと）

小型クレーン（２５ｔ～７０ｔ吊）を用いて橋台・橋脚の間に鋼桁部材を支持するベントを組立ます。

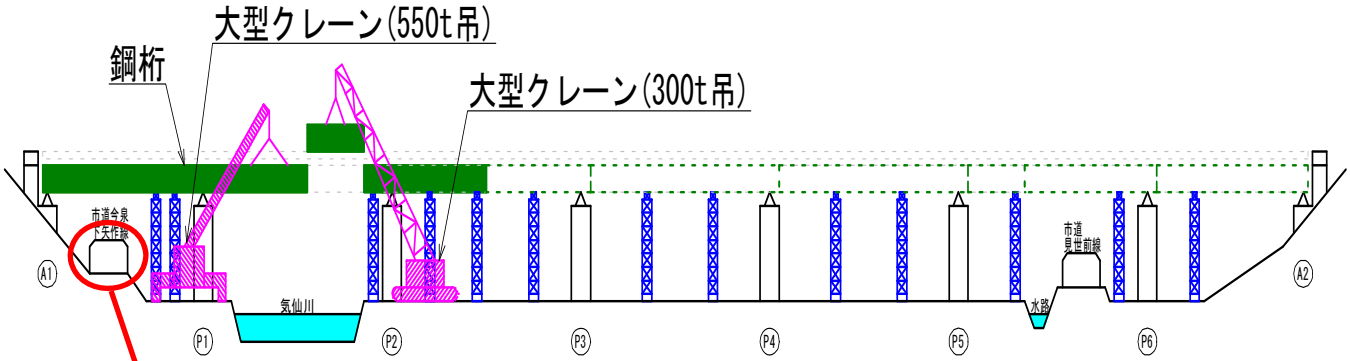




※ 河川内には河川への影響を避けるため、ベントを設置しません。
　河川の上空は、下の図のように大型クレーンで吊り上げながら橋桁を繋ぎます。

○鋼桁架設

組立大型クレーン（５５０ｔ吊および３００ｔ吊）を用いて鋼桁部材を架設します。



※「市道今泉下矢作線の通行規制について」
地元の皆様には、事前に陸前高田市を通じて、お知らせのちらし(別紙-3)を配布しています。



※この工事での、最大の吊り上げ重量は約４８ｔです。

三陸沿岸道路 気仙川を渡河する（仮称）新気仙大橋完成イメージ



橋桁の色は、陸前高田市「奇跡の一本松」のロゴマーク（1PPON MATSU）カラー（緑色）に合わせました。

三陸沿岸道路（仮称）新気仙大橋完成イメージ



別紙-3

市道今泉下矢作線
時間帯一時通行止めのお知らせ

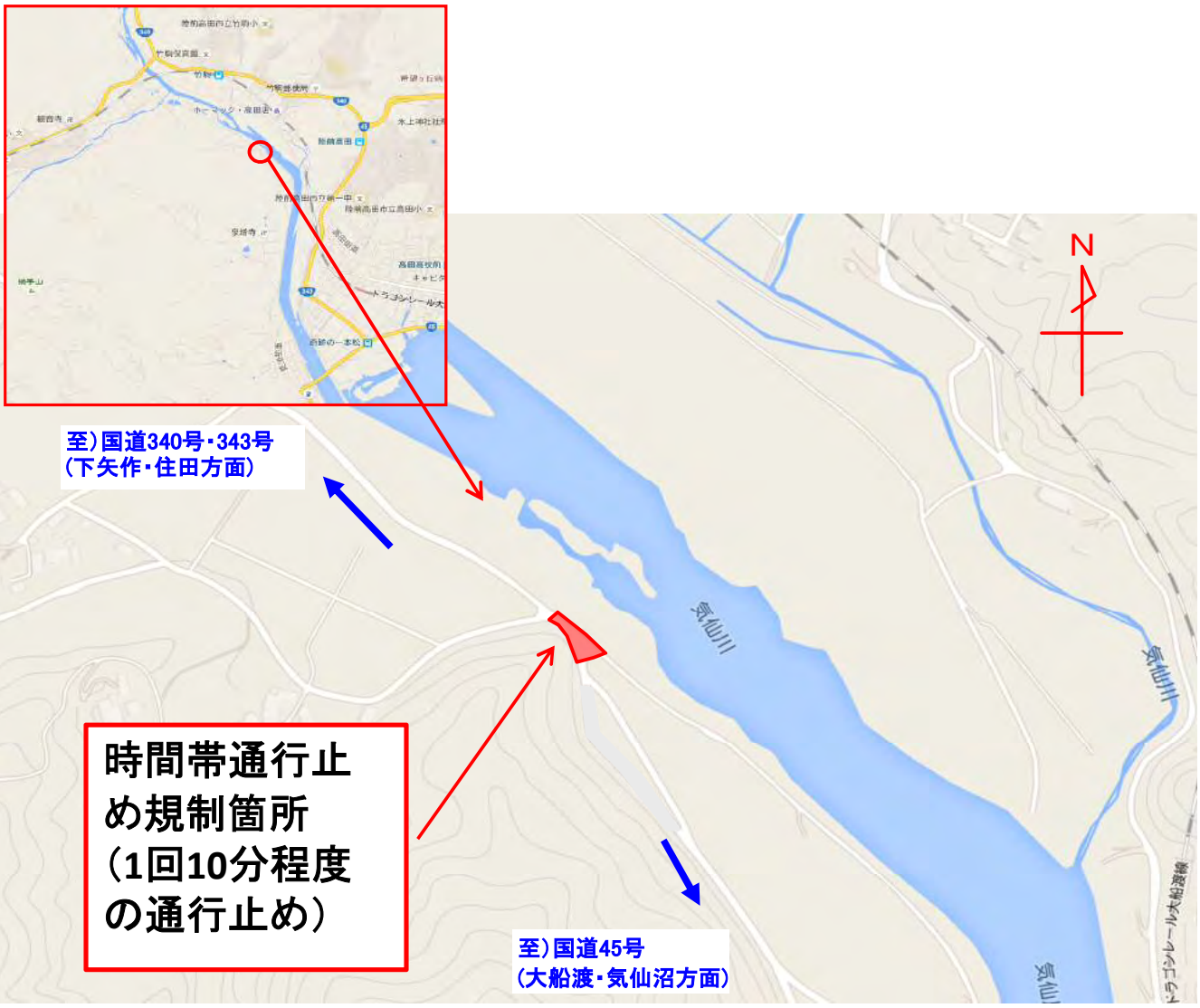
三陸沿岸自動車道（新気仙大橋）の橋げた工事に伴い、市道今泉下矢作線の大嶋部付近において時間帯一時通行止めを行います。
皆様にはご迷惑をお掛けしますが、ご理解、ご協力お願い致します。

【 期　間 】：平成27年7月22日(水)，7月27日(月)～8月1日(土)
平成27年9月3日(木)～5日(土)，9月7日(月)～9日(水)

【 場　所 】：陸前高田市矢作町字大嶋部４２番

【規制内容】：午前9時00分から午後5時00分の間に、1回10分程度の通行止め
（1日5回程度実施）

【迂 回 路】：あり（国道45号・340号・343号等をご利用ください）



・通行止め当日の時間帯通行止め実施時は、規制案内板や交通誘導員の誘導に従い、迂回していただくか、通行止め規制解除まで10分程度お待ち願います。
・悪天候の状況等により、規制日が変更となる場合があります。

問い合わせ先
陸前高田市建設部建設課　TEL：0192-54-2111
国土交通省　南三陸国道事務所　大船渡建設監督官室　TEL：0192-27-7615
株式会社横河ブリッジ（向井、大濱）　TEL：0192-47-4957

迂回路案内図



住田方面
セブンイレブン
竹駒町
ドラゴンレール大船渡線
高田街道
ツルハドラッグ
竹駒局
MAIYA
ローソン
ホーマック
陸前高田
市役所
陸前高田市
(気仙沼駅～盛駅間BRT運行中)
竹駒町
矢作町
高田町
第一中
時間帯通行止め規制箇所
（1回10分程度の通行止め）
陸前高田市
：迂回路
気仙川
気仙町
東浜街道
大船渡
方面
気仙沼方面
②規制予告看板
市道今泉矢作線
一時通行止めのお知らせ
日時　月　日（　）
時～　時
橋梁上部工事の施工により
大崎部周辺を 1回10分程度
一時通行止めします。
大変ご迷惑をおかけしますが
ご協力よろしくお願いします。
新気仙大橋上部工工事
(株)横河ブリッジ　TEL 0192-47-4957

別紙－4

国道45号

三陸沿岸道路（唐桑高田道路）

復興道路

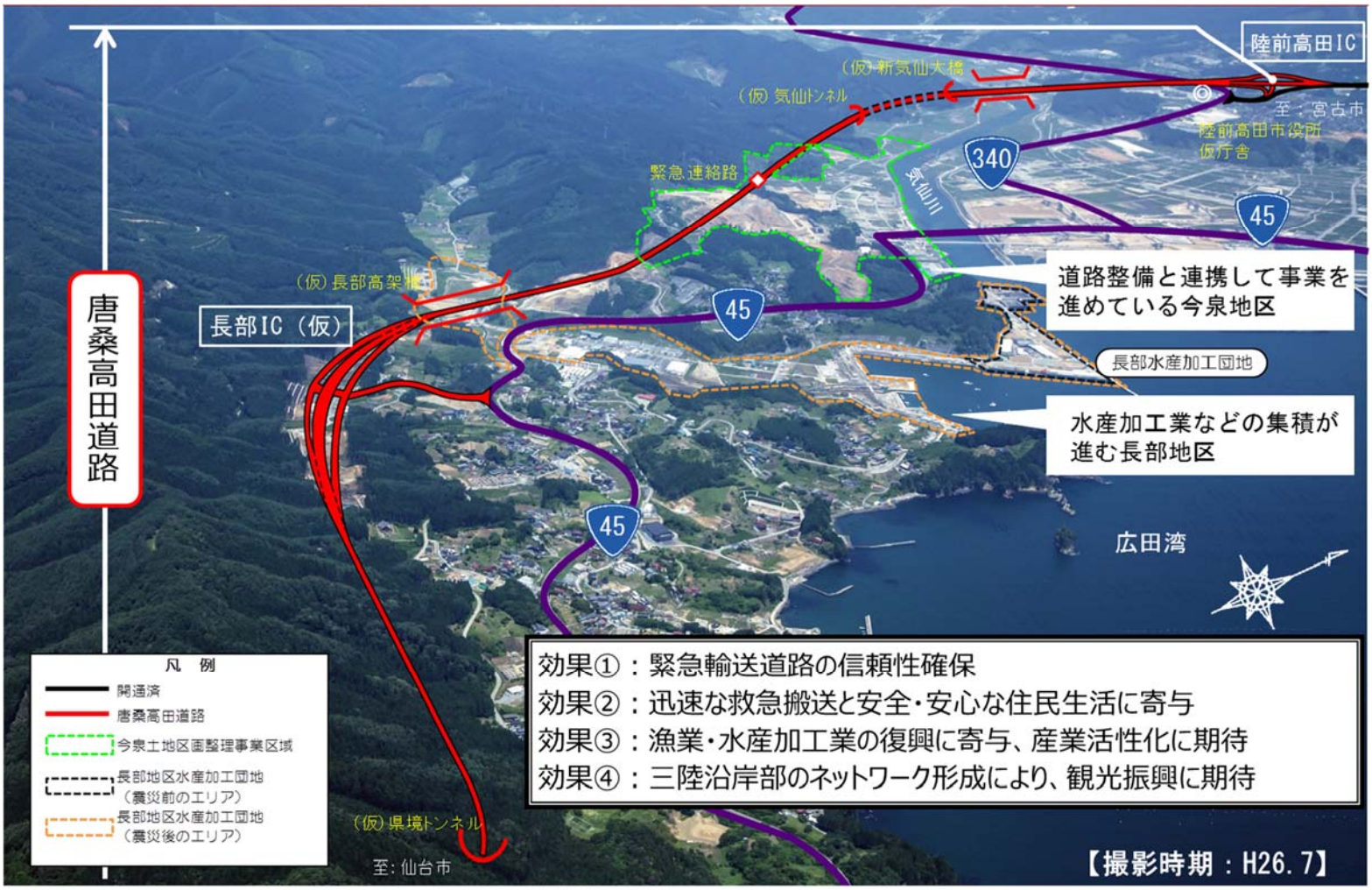
■事業概要

三陸沿岸道路(唐桑高田道路)は、宮城県気仙沼市唐桑町舘(唐桑北ＩＣ(仮称))から岩手県陸前高田市竹駒町相川(陸前高田ＩＣ)を結ぶ１０ｋｍの自動車専用道路です。
この区間は平成２３年度第三次補正予算成立をもって、復興道路として新規事業化されました。
平成２７年度は、用地取得、改良工事、橋梁工事、トンネル工事を進めます。

■位置図



三陸沿岸道路「唐桑高田道路」開通で期待される効果



効果①：緊急輸送道路の信頼性確保

■ 三陸沿岸道路は、津波浸水区域を回避、または高さのある橋梁で通過できるように整備します。
■ 災害時においても寸断されない強靭で信頼性の高い道路ネットワークを形成します。



▲震災時と通常時の大船渡～気仙沼間のルートと所要時間の違い
（H22道路交通センサスで算出）



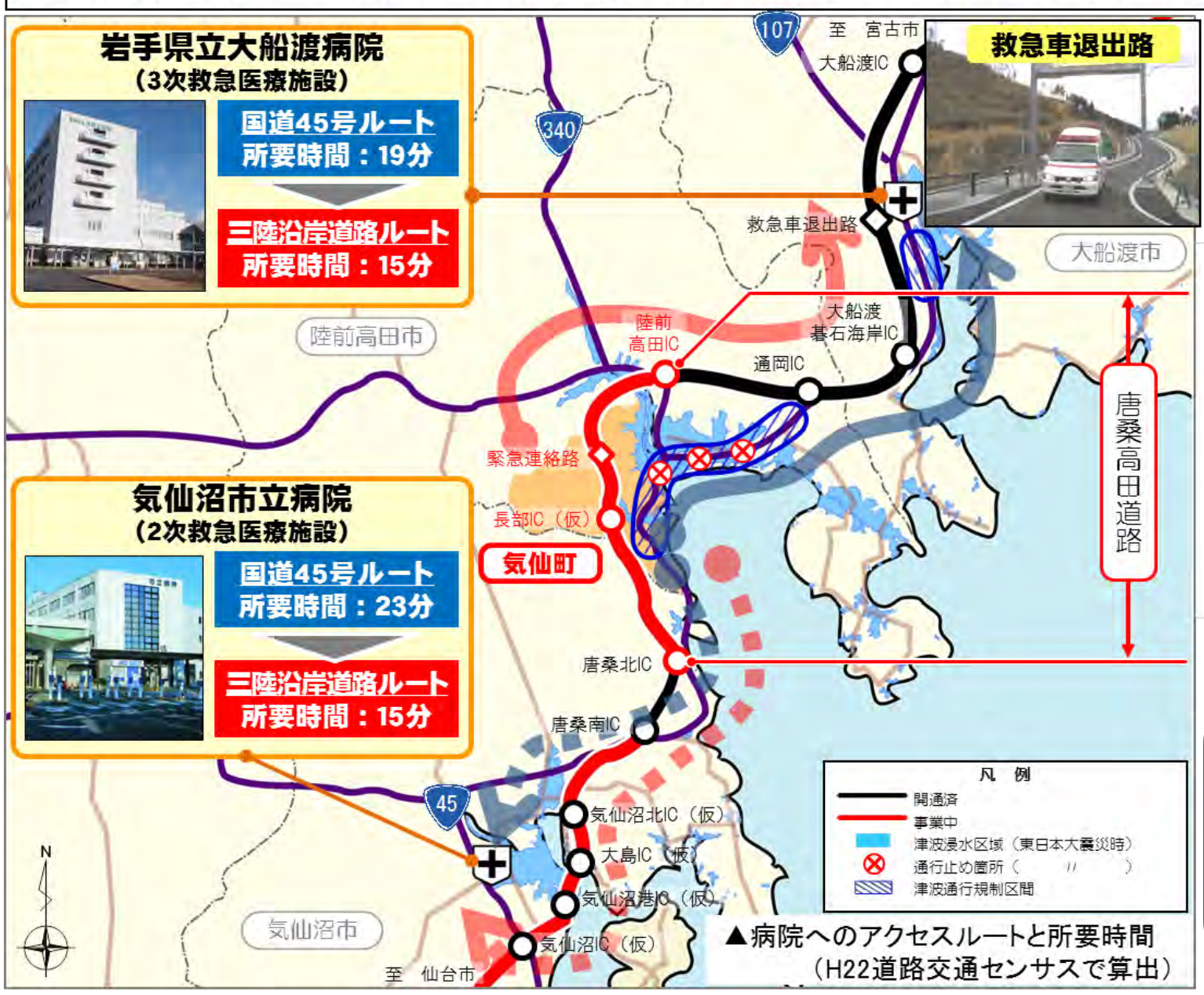
▲津波で流出した気仙大橋



▲仮復旧で対応している気仙大橋

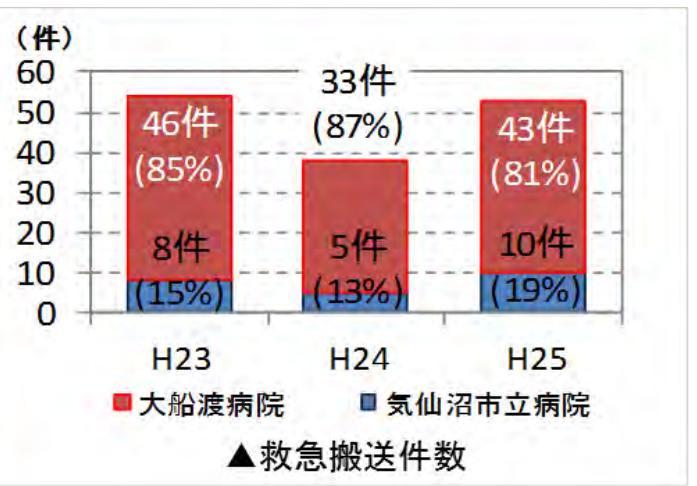
効果②：迅速な救急搬送と安全・安心な住民生活に寄与

■ 迅速な救急活動を支援し、地域の皆様が安全・安心して暮らせる地域づくりに寄与します。
■ 緊急連絡路の整備により通行止め区間を回避でき、災害時における救急活動も支援します。



▲病院へのアクセスルートと所要時間
（H22道路交通センサスで算出）

◇大船渡病院・気仙沼市立病院の2病院への時間短縮が期待される。
◇また、災害時などの病院間の連携支援も期待される。



▲救急搬送件数

資料：陸前高田市消防本部の救急搬送実績
※大船渡病院への搬送：気仙町からの件数
※気仙沼市立病院への搬送：陸前高田市全体の件数

- 災害時、遠回りせず病院へ搬送できる。
- 大船渡・気仙沼、2つの病院への時間短縮が期待できる。



※陸前高田市消防本部（H26.10）より

効果③：漁業・水産加工業の復興に寄与、産業活性化に期待

■ 漁業・水産加工業の再建が進み、水産加工団地の工場が平成25年から稼働開始。
■ 都市圏へのアクセス向上・時間短縮に伴い、商圏の拡大・生産性向上等、産業活性化に期待。



▲長部地区～仙台の所要時間の変化
資料:ヒアリング調査より搬送ルートを確認(長部～仙台市中央卸売市場)
H22道路交通センサスで算出

◇震災前より水産加工場の面積が3割増加し、生産体制が強化。
◇輸送時間の短縮により、商圏の拡大、生産工程が改善され、生産性の向上も期待される。



▲長部地区の加工場面積の変化
資料:陸前高田市水産課提供データ



▲復興が進む長部地区の水産加工団地(背後地)



・三陸沿岸道路の整備により商圏の広がり、新たなビジネスの展開ができることを期待している。

※株式会社かわむら(H25.12)より

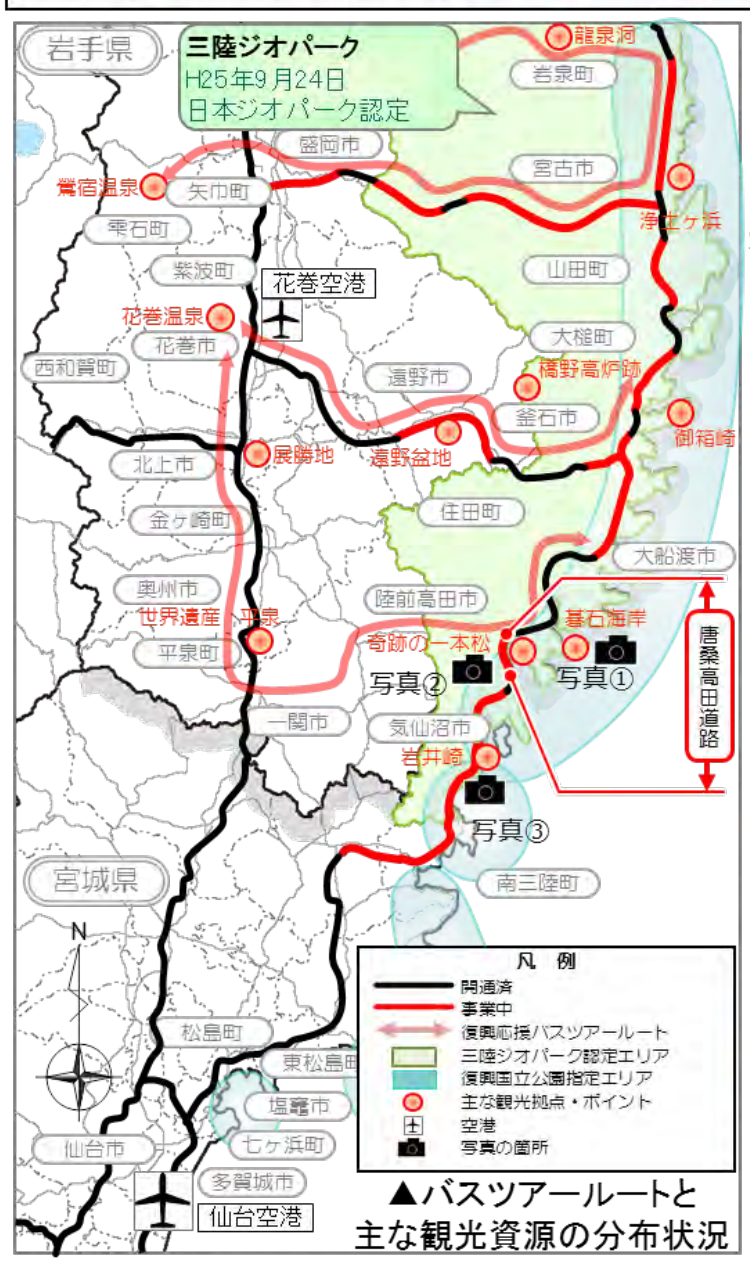


・陸前高田と気仙沼に拠点が分かれているため、道路整備により生産効率の向上が期待される。

※陸前高田市水産課(H26.11)より

効果④：三陸沿岸部のネットワーク形成により、観光振興に期待

■ 三陸沿岸地域は、ジオパーク、復興国立公園に指定され、魅力的な観光資源が数多く点在している。
■ 新たな観光施設がオープンし、道路整備による周遊ルートの形成で観光振興への期待が高まっている。



▲バスツアールートと主な観光資源の分布状況



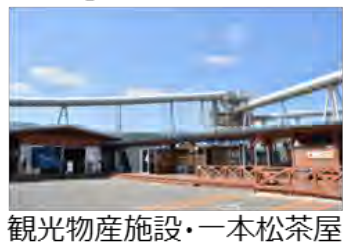
写真①碁石海岸（大船渡市）



写真②奇跡の一本松（陸前高田市）



写真③岩井崎（気仙沼市）

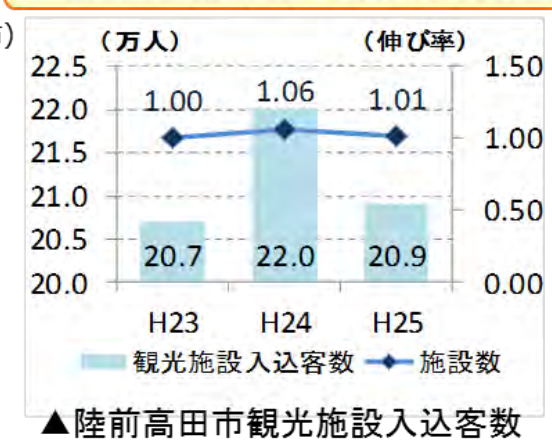


観光物産施設・一本松茶屋

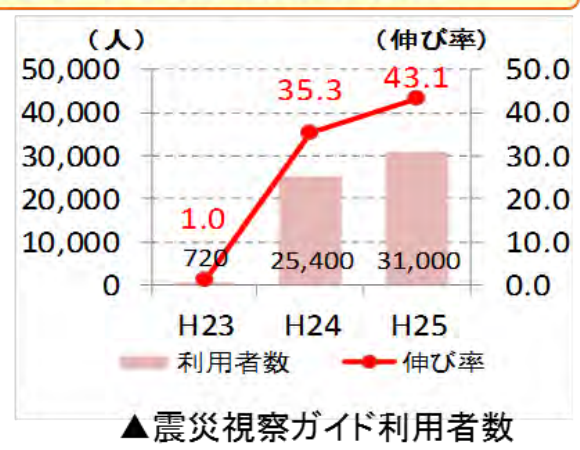


復興まちづくり情報館

◇「被災地視察」から「復興現場視察」へ、来訪目的が変化。
◇復興が進むにつれ、観光拠点を周遊する方も増えており、道路整備により観光振興に寄与することが期待される。



▲陸前高田市観光施設入込客数



▲震災視察ガイド利用者数

資料:陸前高田市商工観光課提供データ

・「一本松茶屋」がオープン(H26.8)してから、観光物産品の売上げが大幅増加した。
今後、防災教育等のツアーを企画し、誘客したい。



※陸前高田市商工観光課(H26.11)より

・復興現場や観光拠点を周遊する観光が増加。
・気仙沼と陸前高田の2地域をまたいだ観光需要の創出に期待している。



※岩手県広域沿岸振興局(H26.11)より